

久喜市立のぞみ園 事業報告

平成30年度事業計画に基づき、以下の事業を行いました。

(1) 療育支援

遠城寺式乳幼児分析的発達検査法を用いて発達検査を行い、発達状況を定期的に確認したり、支援の仕方などを職員間で話し合いながら、個別に合った支援を行いました。また、STやPT、OT等療育の専門指導者による指導を受けました。指導者からのアドバイスを日々の支援に取り入れることにより、子ども達の成長に繋がりました。

ア 基本的生活習慣の自立支援

食事、排泄、着替えなどの生活習慣や動作を「自分で行う」ことを目標に、少しずつ段階を踏みながら支援をしました。自分から行えるように声かけや環境を工夫したり、できたら一緒に喜んだりすることで、自分で行う意欲が少しずつ見られるようになりました。

イ 集団に適応する力を育てる

(ア)言葉だけでなく、視覚や聴覚でも分かりやすいように絵カードやタイムタイマーなどを使って活動内容や「始まり、終わり」を伝えました。繰り返し伝えていくことで、絵カードなどのツールがなくても行動できる様子が見られました。

(イ)一人遊びが多く見られていましたが、職員がおもちゃの貸し借りの仲介をしたり、一人ひとりに付き添いながら子ども同士での遊びを行ったりしました。友達に興味が出て一緒に遊んだり、関わりを持とうとする様子が見られました。

(ウ)家族と一緒にいる行事や、季節の行事を行いました。楽しく過ごす様子が見られました。

<行事>

4月	対面式	10月	遠足
6月	人形劇観賞	12月	年末お楽しみ会
7月	プール開き、夏のお楽しみ会	2月	豆まき、おはなし会
8月	七夕	毎月	誕生会 (すみれ保育園と合同で実施)
9月	運動会		

ウ 活動の体制

(ア)一人ひとりの課題に沿って、個別活動、集団活動を行いました。個別活動では「手先を使ったあそび～紐通し、粘土、コイン入れ等」「立位、歩行訓練」などを行いました。集団活動では「リレー遊び」「箱入れ競争」などルールのある遊びを行いました。

(イ)目的やねらいを明確にして活動を行うことができました。今後、月間の活動計画も作成することを検討し、よりきめ細かな支援を行っていきたいと思います。

エ 家族支援

(ア) 保護者の方と送迎時や面談の時に情報交換や相談を行いました。子どもの発達や行動の悩みなどに対してアドバイスをしました。

(イ) 年長児が在籍していませんでしたが、就学支援は久喜特別支援学校の見学と、就学についての意見交換を行いました。就学について、「小学校の特別支援学級の見学をしたい」「就学に向けて何を準備したら良いか」というような意見がありました。今後も、保護者の方へ就学に向けて必要な情報を提供していきます。

オ 危機管理の体制整備

(ア) 地震、火災、水害、防犯などの避難訓練を毎月実施しました。絵や写真を使って「地震」「火災」などについて説明したり、避難の仕方を実際に職員が行って見せるなど分かりやすいように子ども達に伝えました。

(イ) 隣接のすみれ保育園とも合同で避難訓練を行いました。また、避難の仕方を図にまとめたものを作成し、お互いに共有しました。

(2) 地域との交流

ア ひよこ教室との交流会

久喜市子育て支援課で行っている事業「ひよこ教室」に通うお子さんと保護者の方が園に来園し、一緒に活動を行いました。「どのような活動を行っているのか」「子ども自身が園になじめそうなのか」というところを保護者の方が知ることができたと感想を頂きました。

イ ボランティア・実習生の受け入れ

普段関わりのない方と接するのが苦手な子もいますが、定期的に接することによって少しずつ慣れていく様子が見られたり、ボランティアさんや実習生が来るのを楽しみにすることもありました。

(3) 効率的・自立的経営

ア 利用率の向上

80%を目標としていましたが、年間63%と目標に到達しませんでした。7月から10月まで定員10名のところ1名減であったこと、欠席を見越して1日の受け入れ人数を子どもの状況（移動に要介助、行動面に見守り必要等）から多く受け入れることが困難だったことが理由として挙げられます。今後も利用率を上げることが必須の課題として努力していきます。

<定員> 10名

<現員> 4月~6月 **10名**・7月~10月 **9名**・11月 **10名**・12月~3月 **11名**

<入退園等>

入園 6名（4月1日 男児 2名 女児 2名、11月1日 女児 1名、12月1日 女児 1名）

退園 2名（6月8日 女児 1名、3月31日 男児 1名）

（退園理由…・引越し ・幼稚園への移行）

卒園 0名

<併用の状況>

幼稚園との併用 3 名（久喜幼稚園、栗橋さくら幼稚園）

<年齢構成>

H31.3.31 現在

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	平均
男	0	1	1	2	2	0	3.8歳
女	0	1	1	0	3	0	4.0歳
計	0	2	2	2	5	0	3.9歳

<障害者手帳の所持状況>

H31.3.31 現在

区分	療育				身体	なし	計
	㊦	A	B	C	1級		
男	0	1	0	2	0	3	6
女	0	0	0	1	1	3	5
計	0	1	0	3	1	6	11

<利用状況・月別>

H31.3.31 現在

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開園日数	20	21	21	21	23	19	23	21	19	19	19	20	246日
延利用者数	141	134	128	129	100	107	142	148	127	134	143	136	1,569人
利用率	70.5	63.8	60.9	61.4	43.5	56.3	59.5	70.5	66.8	70.5	75.2	68.0	63.7%

イ 延長療育

登園前、降園後の時間で家庭の都合に応じて延長療育を行いました。特に兄妹のいる家庭の利用が多くありました。年間で延べ52名が利用しました。

ウ 歯科検診・ブラッシング指導

インフルエンザ流行のため実施できませんでしたが、歯の大切さや歯磨き、口のすすぎ方などを日頃から伝えていきたいと思っております。また、今後実施する時のために保護者の方が歯磨きや歯科通院で困っていること、知りたいことなどを聞いていきたいと思っております。

(4) 保護者との信頼関係構築

ア 個人面談、アンケートの実施

(7)年に3回、個人面談を実施しました。また、アンケートを実施し、意見や要望を把握しました。

(1)面談やアンケートで受けた要望には「トイレトレーニングをしてほしい」「箸の使い方を教えてほしい」など支援についての要望が多くありました。個別の課題として目標を設定して取り組みました。

(5) 人材の育成

ア 資質の向上

(ア)外部研修へ参加することが難しかったため、次年度は年間の研修計画を作成し、計画性を持ちながら研修に参加できるように努めます。

(イ)虐待防止、権利擁護の意識を常に持てるように、職員会議の場を利用してチェックシートを使って各自が支援を見直したり、外部、内部の虐待防止研修へ参加しました。

<職員の研修>

※外部研修

研修名	主催	期日	参加人数
虐待防止研修 ～その人の権利を守るために～	埼玉県社会福祉協議会	12月7日	1名

※内部研修

研修名	期日	参加人数
中堅職員研修	9月19日	1名
虐待防止研修「利用者向け研修」	10月15日	1名
主任・主査研修	2月7日	1名
虐待防止研修	3月4日	2名